

2025 年度 事業報告書

特定非営利活動法人 MS キャビン

変化の時代に
私たちができること



ごあいさつ

それでも、私たちはここに

いつもありがとうございます。2025年度も、みなさまのご支援があってこそ活動を続けることができました。支えてくださったすべての方に、心から感謝しています。

近いうちに終わり？

2025年度は、AIの影響をとりわけ強く感じた年でした。何でも瞬時にわかりやすく答えてくれます。その進化の勢いはすさまじく、「MSキャビンの役割は、案外近いうちに終わりを迎えるのかも」と本気で思う瞬間もありました。AIに任せられるなら、それでいい。患者さんが救われるなら、それでいいとも思いました。

でも、現実はいさ少し違いました。情報がいくらあっても、「これで本当に大丈夫か」という不安は残る。検索結果やAIの回答だけでは埋まらない何かがある。その中で気づいたのは、必要なのは、情報を隣で一緒に考えてくれる「人」の存在です。

また、検索エンジンやAIがMSキャビンの情報を引用するケースも増えました。情報過多の時代だからこそ、AIすら引用する正確で中立な一次情報を発信し続ける必要がある。そう気づきました。

そしてもう一つ、忘れてはならないことがあります。デジタルに不慣れな方を置き去りにしてはいけない。どんなに時代が変わっても、ITに不慣れな患者さん・ご家族にも届く情報発信を続けることが、私たちの責任だと考えています。

AIを味方に、人間がもっと強くなる。

作り手の側から見ると、AIは頼もしい相棒になりました。より正確に、より速く情報を届けられる。長年の課題だった引き継ぎも解決してきています。

一時は、AIに置き換えられるなら終わり？とも考えましたが、今の答えは違います。AIと一緒に、人間がさらに強くなる。それが2025年度の結論です。

2025年度はパートスタッフを1人採用しました。これにより、専従スタッフが抱えていた業務をいくつか分散でき、活動全体の安定感が増しました。どれだけツールが進化しても、人の手と目が一番大切だという思いは変わりません。

無料の時代に、価値を作り続ける。

スマートフォン一つで情報が手に入る時代に、情報発信NPOが活動を続けることは簡単ではありません。でも、だからこそ工夫する余地があり、おもしろさがあります。コストを見直しながら、持続可能な仕組みを作り続けていきます。

この報告書は、2025年度のあゆみの記録であり、次のステージへ踏み出す宣言でもあります。2026年度も、着実に前へ。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

2026年5月24日
MSキャビン理事長 中田郷子

私たちの理念

目指す社会 (Vision) : 患者・家族が安心して暮らせる社会の実現

MS キャビンは、多発性硬化症 (MS)・視神経脊髄炎 (NMOSD)・MOG 抗体関連疾患 (MOGAD) に関する公平中立な知識情報を広く普及させる。そうすることで、患者さんとご家族が安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

価値観 (Value) : 当事者と専門家の視点と独立性

MS キャビンの強みは「患者と複数の専門医と一緒に情報を作り上げていること」です。製薬企業・公金・行政助成金・政党などからの金銭的な支援は一切受けず、独立した立場で信頼性を確保しています。

使命 (Mission) : 「知らない」を「知る」に変えていく

MS・NMOSD・MOGAD は社会的に十分理解されているとはいえません。多くの患者さんが「知らないこと」への不安を抱え、「知られていないこと」で孤独や苦しさを感じています。差別や周囲の目を気にして引きこもってしまう人もいます。私たちはこれを解決するために活動しています。

「情報がなければいい。」

MS キャビンは 1996 年、MS 患者が自ら設立。当時の日本には MS に関する情報がほとんど存在しませんでした。

ネットで調べると、欧米には大量の情報がありました。そこで米国のサイト運営者に直接連絡し、その内容を翻訳して日本語サイトを立ち上げたことが、MS キャビンの始まりです。

事業内容

「知らない」を「知る」に変えていくために、MS キャビンでは 4 つの事業を展開しています。

情報誌の発行

情報誌「バナナチップス Plus」を冊子版・電子版で年 4 回発行。

書籍「多発性硬化症完全ブック」「視神経脊髄炎完全ブック」も刊行しています。

公開セミナーの実施

専門家による講義を YouTube 配信・対面形式で提供しています。

ホームページ運営

病気の基本情報・イベント情報を掲載。

X・Facebook・Instagram でも日々情報を発信しています。

相談窓口の運営

情報誌読者を対象に、メールによる個別相談に対応しています

(2025 年度より電話相談を終了し、メール対応に集約)。

運用ポリシー

MS キャビンは中立性を何より大切にしています。製薬企業からの寄付・資金提供は一切受けず、公金・行政助成金・政府関係機関・政党・学会・宗教団体からの支援も一切受けていません。

利益相反 (COI) を徹底排除し、患者さんのための「本当に信頼できる情報」を届け続けます。

当団体の事業年度は 1 月から 12 月です。

本報告書における「2025 年度」は、2025 年 1 月 1 日から 12 月 31 日を指します。

2025 年度会計報告（経常収益）

経常収益とは：
事業活動や寄付による年間の総収入

科目	2025 年度	2024 年度
事業収入		
情報誌購読料	4,073,524	4,981,000
完全ブック	182,971	1,797,985
記事使用料（引用）	100,000	0
情報掲載料（ホームページ）	1,190,000	248,000
動画制作請負※	40,000	80,000
物販	156,939	461,025
物品寄付の換金	0	21,000
YouTube 広告収入	45,354	42,212
ホームページ広告収入	21,006	29,437
事業収入計	5,809,794	7,660,659
寄付金		
個人寄付	4,328,345	5,734,502
法人寄付	50,000	50,000
募金	9,000	75,741
寄付金収入計	4,387,345	5,860,243
その他収入（利息）	10,938	786
合計	10,208,077	13,521,688

※動画制作請負：他団体との共催に伴い、
当団体が一時的に支払い窓口を担ったことで発生

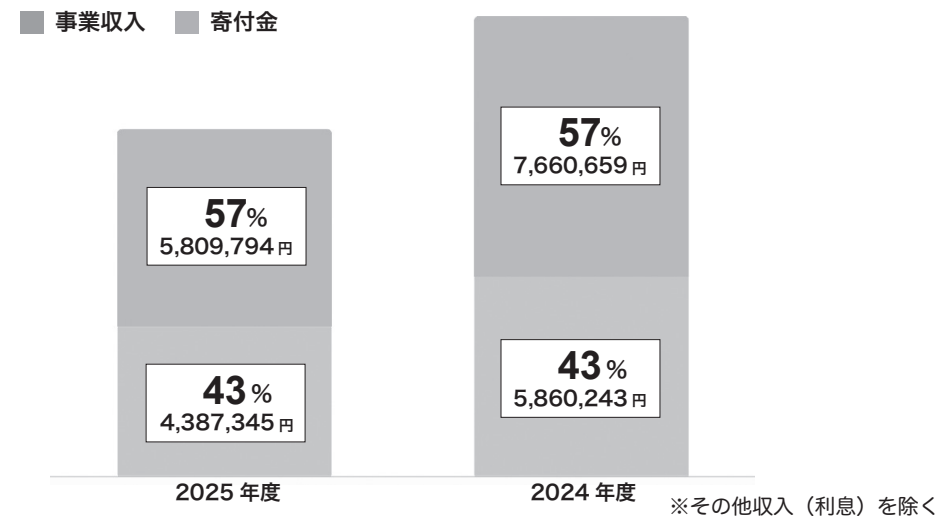
（円）

【ご寄付いただいたもの】

種類	2025 年度	2024 年度
書き損じはがき・未使用はがき 切手	315,296 円分 94,366 円	33,362 円分 68,912 円
商品券	45,000 円分	0
クオカード	5,000 円分	16,370 円分
テレホンカード	1,960 度数	2,265 度数

多くのご支援をありがとうございます。

事業収入と寄付金の割合 —前年度との比較—



2025 年度 経常収益の動き

目標

情報誌をさらに充実させ、安定した事業収入を確保すること。

主な取り組み

編集委員を増員し、オンライン版を読みやすくリニューアルしました。前年度に発行した完全ブック売上は大幅減となったものの、ホームページの情報掲載（主に企業からの募集案件）で事業収入を支えました。

成果と実績

総収入は前年比約 25% 減の 10,208 千円となりましたが、事業収益 57%・寄付金 43% の比率は前年と全く同じ。寄付者の皆さまのご支援に支えられ、堅実な収入構造を維持できました。

今後に向けて

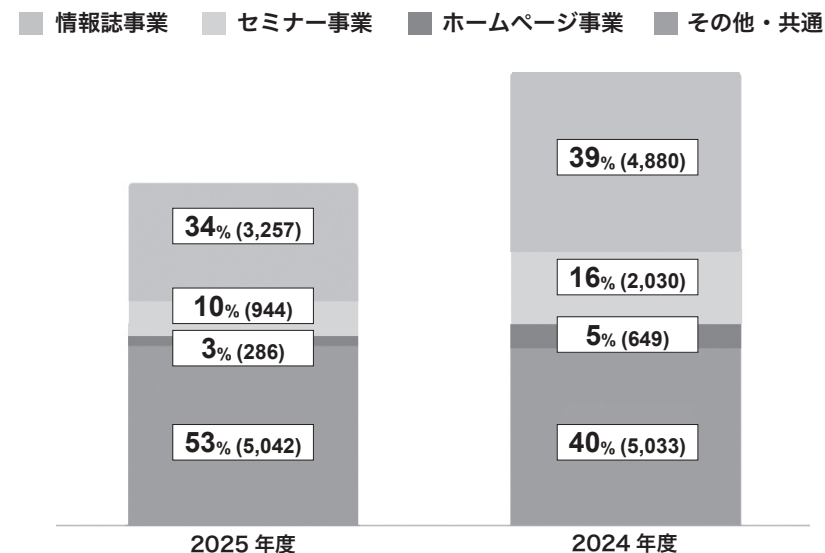
完全ブック効果の反動減と、全体収入の減少。2026 年度は情報誌新規読者開拓で事業収入の底上げを図ります。

2025 年度会計報告（経常費用）

経常費用とは：
活動に必要な年間の総支出

科目	2025 年度	2024 年度
事業費 （活動に直接関わるもの）		
人件費（含法定福利費）*	3,055,127	2,784,163
情報誌印刷費	653,400	1,062,600
情報誌オンライン版費用	636,240	310,860
完全ブック印刷費	0	1,129,700
情報誌送料	476,360	839,050
原稿・監修料	1,488,418	1,434,341
外注費（情報誌関連）	3,000	103,000
旅費交通費	292	52,252
講演会会場費	550	298,900
講演料	924,371	672,442
外注費（動画制作、SNS）	19,000	1,006,000
通信費（web 関連）	286,000	288,750
外注費（web 関連）	0	360,000
T シャツ・グッズ制作費	101,535	356,309
封筒・報告書印刷費*	216,015	258,603
送料（情報誌以外）*	52,239	164,396
通信費（ネット、セキュリティ、AI）*	605,666	654,728
事務用品費*	215,246	192,088
支払報酬*	480,150	151,525
支払手数料（主にクレカ手数料）*	185,009	287,644
雑費（JAN コード更新料）	0	11,000
事業費計	9,398,618	12,418,351
管理費		
人件費（含法定福利費）*	76,133	100,605
送料（情報誌以外）*	1,616	6,850
封筒・報告書印刷費*	6,681	10,775
通信費（ネット、セキュリティ、AI）*	18,732	27,280
事務用品費*	6,657	8,004
支払報酬*	14,850	7,975
支払手数料（主にクレカ手数料）*	5,722	11,985
管理費計	130,391	173,474
合計	9,529,009	12,591,825
増減額（収入-支出）	679,068	929,863
法人事業税	70,000	70,000
前期繰越正味財産	10,010,602	9,150,739
次期繰越正味財産	10,619,670	10,010,602

経常費用の内訳 —前年度との比較—（単位：千円）



2025 年度 経常費用の動き

目標

外注費を削減し、できることは自分たちの手で内部作業に切り替えることで、情報誌・セミナーの質を維持しながら経費全体を抑えること。

主な取り組み

外注制作費の内部作業への切り替えにともないパートスタッフを1名増員。専従の負担軽減のため契約した税理士は継続しました（表中「支払報酬」）。

成果と実績

総支出は前年比約24%減の9,529千円。情報誌オンライン版への移行が進み、印刷費・送料も減少しました。事業費99%・管理費1%の比率は前年とほぼ変わらず、活動に直結する費用をしっかりと確保できました。

今後に向けて

内部作業へのシフトにより人件費が支出の約1/3を占める構造となりました。2026年度は引き継ぎ体制を強化し、持続可能なコスト構造を目指します。

2025 年度 事業別貢献度と全体成果

事業別貢献度

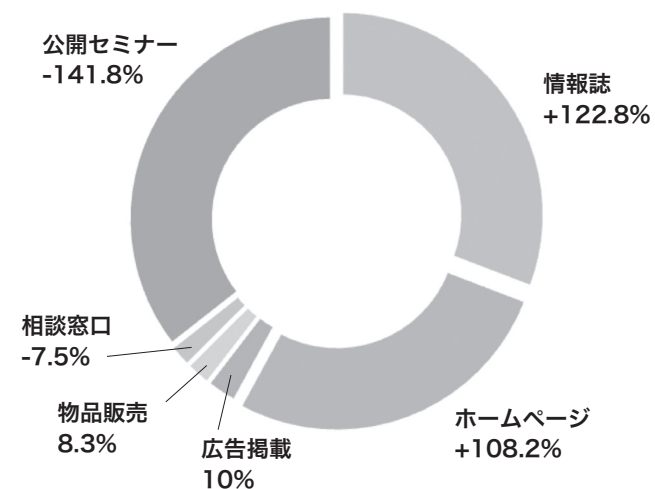
経常増減額とは：
当期黒字額（収益－費用）

事業名	経常収益	経常費用	経常増減額	全体貢献度
情報誌	6,111,433	5,292,705	+818,728	+122.8%
公開セミナー	1,005,216	1,950,758	-945,542	-141.8%
ホームページ	1,716,481	994,611	+721,870	+108.2%
相談窓口	1,009,089	1,059,009	-49,920	-7.5%
物品販売	156,939	101,535	+55,404	+8.3%
広告掲載	66,360	0	+66,360	+10%
寄付物品販売	0	0	0	0%
合計（事業部門）	10,065,518	9,398,618	+666,900	100%

事業別経常増減額 前年比表

事業名	2025 年度 増減額	2024 年度 増減額	増減額	前年比	評価
情報誌	+818,728	+2,277,293	-1,458,565	36.0%	黒字維持も 大幅減
公開セミナー	-945,542	-1,488,779	+543,237	63.5%	赤字改善
ホームページ	+721,870	-815,845	+1,537,715	黒字転換	最強成長
相談窓口	-49,920	+391,505	-441,425	-12.8%	赤字化
物品販売	+55,404	+104,716	-49,312	52.9%	黒字縮小
広告掲載	+66,360	+319,649	-253,289	20.8%	大幅減
寄付物品販売	0	+21,000	-21,000	0.0%	2025 年度 なし
合計（事業部門）	+666,900	+809,539	-142,639	82.4%	全体黒字は 減少も安定

全体黒字に対する各事業の寄与（貢献度順）



2025 年度 全体解説

2025 年度は、情報誌事業（貢献度 +122.8%）とホームページ事業（同 +108.2%）が両輪となり、事業部門黒字の約 231% を生み出す強固な収益構造を確立しました。この 2 事業が公開セミナーの赤字を十分にカバーしており、法人全体の財務基盤は安定しています。

ホームページ・SNS 運営では、企業からの情報掲載依頼（インタビュー募集やイベント周知など）が着実に増加し、インターネットを通じて病気の情報を届けられる方の数も大きく広がりました。広告掲載事業も YouTube 広告収入に整理・集約したうえで +10.0% の貢献を維持しています。

公開セミナーは視聴回数 162,905 回・総再生時間 16,626 時間という大きな社会的価値を創出する事業として位置づけており、2026 年度以降の黒字化に向けた改善を着実に進めてまいります。

事業部門全体では +666,900 円（全体正味財産増加額の 98%）の黒字を達成し、最終的な正味財産増加額 679,068 円 につながりました。各事業がそれぞれの役割を果たしながら、法人の持続可能な運営を力強く支えています。

事業① 情報誌発行

なくてはならない情報誌として

MS・NMOSD・MOGADの患者さんとご家族のために
 つくっている専門情報誌です。
 患者と現場を知る専門医が協力して、「いま本当に必要な
 こと」を整理してお届けしています。
 年間3,000円で、年4回お届けしています。



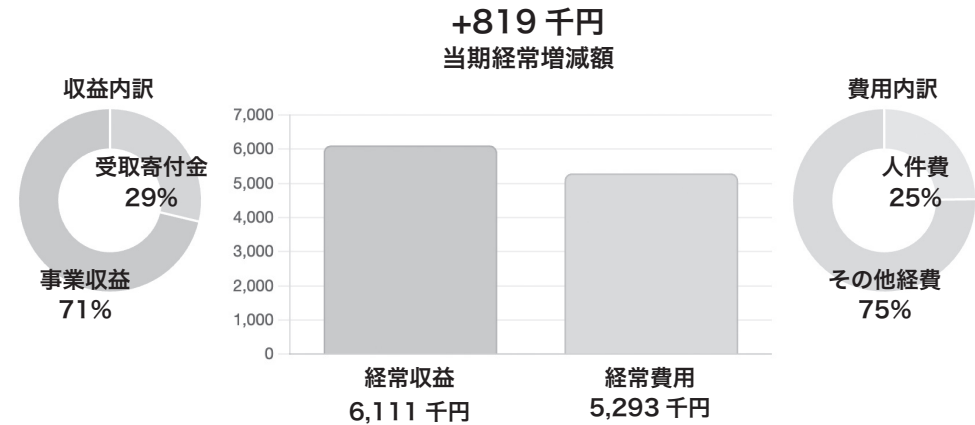
2025年度の主な動き

バナナチップス Plus は収入の面で最も主力となる事業です。2025年度はさらなる安定を目指しました。編集委員を4人増員して多彩な視点からの記事づくりを強化するとともに、オンライン版をリニューアルし、読みやすさと情報発信力の向上を図りました。
 その結果、オンライン版の読者数は99人から453人へと大幅に増加し、リニューアルの効果が数字にあらわれた一年となりました。

購読者数など

号数	特集のテーマ	冊子版	OL版
134号 (1月)	3疾患の基礎知識	1,596人	99人
135号 (4月)	ライフステージごとに考えたいこと	1,335人	347人
136号 (7月)	病気の経過はどうなる？	1,216人	408人
137号 (10月)	MS・NMOSD・MOGADと感染症	1,161人	453人

情報誌発行事業 収支概要



解説

2025年度の情報誌発行事業は、患者さんとご家族の孤立防止と情報格差の解消に大きく貢献しました。
 オンライン版の強化や記事の充実により、「この情報は信頼できて新しい」「人に説明するときに使う」「私たちの心の拠り所」といった声が多数寄せられ、読者が自ら考え、行動へとつながる成果を上げることができました。

冊子版読者数に減少傾向が見られるものの（1,596人→1,161人）、オンライン版は大幅増加（99人→453人）と成果も出ています。
 情報収集の手段が多様化するなかでも、患者と専門医が協力してつくる「ここでしか得られない情報」という強みは変わりません。SNSや関連機関との連携強化、オンライン版のさらなる利便性向上を通じて、より多くの方に届けられるよう取り組んでいきます。

2026年度は読者数・影響力ともに着実に伸ばし、「なくてはならない情報誌」としての存在感をさらに高めていきます。

事業② 公開セミナー

YouTube で知識と支えをお届け

MS・NMOSD・MOGADに関する専門家の話をYouTubeで公開しています。ライブ配信を実施し、それにテロップや字幕を入れるなど見やすく編集して再配信しています。

2025年度の主な動き

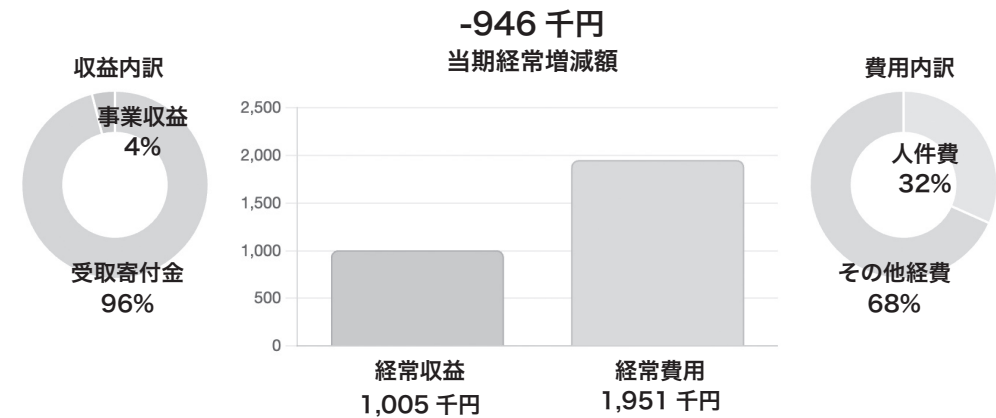
2025年度は合計23本の動画を公開しました。総視聴回数162,905回（前年比+6%）、総再生時間16,626時間、チャンネル登録者数5,090人（578人増）を達成しました。ショート動画を除く平均視聴時間は7分11秒と、しっかり見てくださっていることがわかりました。

また、これまでは制作の一部を外注していましたが、制作費の観点からも2025年度からは内部制作に完全切り替え、複数人で作業しています。

視聴回数など

項目	2025年度	2024年度	前年比
総視聴回数	162,905回	153,670回	+6.0% ↑
総再生時間	16,626.4時間	17,118.5時間	-2.9% ↓
チャンネル登録者増加	578人	710人	-18.6% ↓
ショート動画視聴回数	42,711回	22,545回	+89.4% ↑↑
平均視聴時間 (ショート以外)	7分11秒	7分41秒	少し短縮

セミナー事業 収支概要



解説

2025年度の公開セミナー事業は、MS・NMOSD・MOGAD患者さんご家族に「適切な知識と支え」を届ける重要な役割を果たしました。視聴回数162,905回・総再生時間16,626時間という数字が示すとおり、多くの方に継続して視聴いただいています。「病気のことが短時間でよくわかった」「不安が軽くなった」「家族と一緒に視聴して話し合えた」といった声も多数寄せられ、知識の習得にとどまらず、心の支えとしても貢献できた一年となりました。

収支は赤字となりましたが、この事業が生み出す社会的価値は金額では測れないほど大きいと確信しています。チャンネル登録者の増加数は前年を下回りましたが、通常動画とショート動画をうまく組み合わせながら、より深く・長く寄り添えるコンテンツづくりを進めていきます。

2026年度は収支改善を図りながら、希望を持てる動画をさらに充実させ、患者さんご家族が孤立しない社会の実現に向けて歩み続けます。

事業③ ホームページ

信頼できる一次情報源として

ホームページにはMS・NMOSD・MOGADの基本情報やイベント情報、スタッフのブログ（業務報告）などを掲載しています。SNSはX・Facebook・Instagramを運用し、疾患への理解につなげる投稿を続けています。

2025年度の主な動き

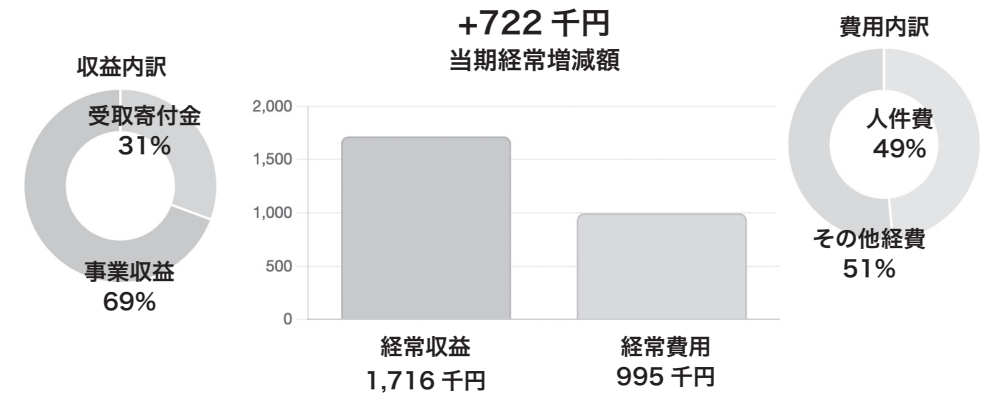
企業からの情報掲載依頼が大幅に増加し、事業収益増加の主な要因となりました。インタビュー募集やイベント告知にとどまらず、内容への助言・アンケート設計・SNS用画像制作など、トータルでサポートするサービスとして育ってきています。またInstagramを中心にSNSフォロワーを着実に伸ばし、情報発信の基盤をさらに強化しました。

アクセス状況・フォロワー数など

項目	2025年度	2024年度	前年比
アクティブユーザー数	69,930人	85,183人	-17.9% ↓
ページビュー (PV)	272,593回	349,262回	-22.0% ↓
平均エンゲージメント時間	3分29秒	5分28秒	短縮
AIからの流入	約200回	25回	約8倍 ↑↑
Xフォロワー	4,277人	4,050人	+5.6% ↑
Instagramフォロワー	2,092人	1,859人	+12.5% ↑
Facebookフォロワー	669人	611人	+9.5% ↑
合計SNSフォロワー	7,038人	6,520人	+7.9% ↑

PV上位（トップページを除く）：ケシンプタ > MS治療薬 > MSとは

ホームページ事業 収支概要



解説

アクティブユーザー数・PVは前年を下回りましたが、ChatGPTやPerplexityなどのAIサービスが回答の中でキャビンのホームページを紹介し、そこから訪問してくださった方の数は前年の約8倍に急増しています。これは、キャビンの情報が信頼できる一次情報源としてAIにも認識されてきた結果と捉えています。

一方で、企業からの情報掲載依頼が大幅に増加し、インタビュー募集やイベント告知などのサポートを通じて事業収益を伸ばすことができました。

患者さんからは「詳しく出て助かる」「知ってほしい人に紹介している」といった声が寄せられており、一次情報源としての価値は確実に高まっています。

2026年度はサイトのリニューアルを行い、さらに見やすく・探しやすい進化させるとともに、企業連携も活かしながら、患者さんが孤立せず希望を持って病気と向き合える基盤を強化してまいります。

事業④ 相談窓口

当事者の孤独を和らげる

相談窓口事業は、患者さんやご家族が一番不安なときに寄り添う、当法人にとって大切な事業の一つです。治療に関するご相談には診療ガイドラインに基づいてお答えし、団体としての見解をお伝えすることもあります。病院や主治医に関するご相談は、まずは現状の改善を提案し、状況に応じて医師をご紹介します。

2025 年度の主な動き

3月に電話窓口を終了し、X（旧 Twitter）のスペース機能を活用した専門家相談会を毎週～隔週で継続しました。電話とは異なり公の場での会話となるため、個別の深い相談は難しいものの、「気軽に聞いてみよう」と思えるハードルの低さが新たな接点として機能しています。

メール件数・内訳

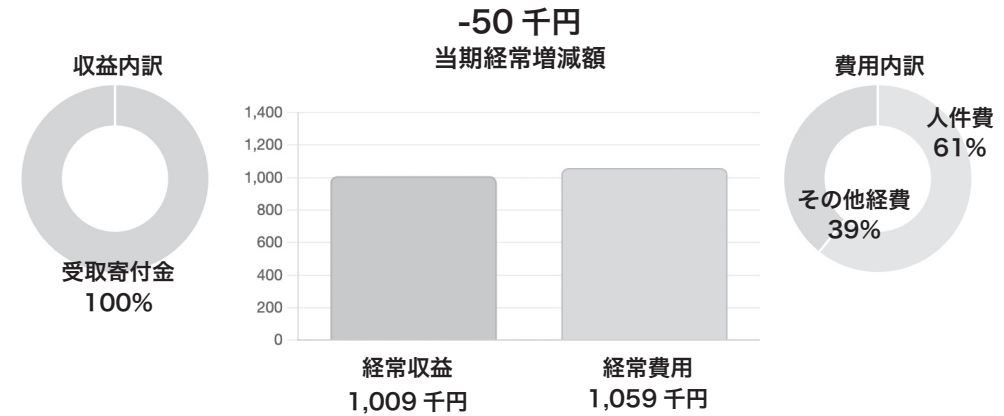
項目	2025 年度	項目	2025 年度
メール総数	1,188 (2,083)	事務連絡	640 (1,316)
MS	112 (141)	お礼	218 (396)
NMOSD	70 (75)	近況報告	66 (76)
MOGAD	28 (25)	意見	17 (11)
病院	27 (60)	雑談	10 (28)

（単位：件・カッコ内前年度）

電話件数・内訳

17件（MS1、NMOSD1、近況3、事務連絡12）

相談事業 収支概要



解説

メール相談は1,188件（前年2,083件）、電話相談は17件と件数は減少しましたが、これは電話窓口を3月に終了したこと、前年度に完全ブックを発行したことによる一時的な問い合わせ増の反動、ならびに情報誌オンライン版の運用が安定したことで事務的な問い合わせが大幅に減ったためです。一方で、疾患そのものに関する相談の割合は安定しており、本当に困っている方にしっかり寄り添えていると言えます。

この事業の収益はすべて寄付金で成り立っています。「いつも心強いです」「不安でしたが相談させていただいて本当にありがたかったです」「ものすごい安心感があります」といった声が届くたびに、寄付者の皆様の温かいご支援がそのまま患者さんの安心につながっていることを実感します。

2026年度はXスペースに参加する専門家を増やし、相談内容の要約や動画化などを通じて、より多くの方々に「知識と支え」を届けられる仕組みに進化させていきます。

患者さんにご家族の孤独を少しでも和らげる存在であり続けられるよう、これからも丁寧に運営してまいります。

事業⑤ その他事業

活動資金を支える自立した収益事業

その他の事業として、Tシャツ・トートバッグ・マグカップなどの寄付金付きオリジナルグッズ販売と、YouTube 広告収益を柱としています。

どちらも患者支援の直接活動ではありませんが、寄付に頼らない活動資金の確保と広報の両面で重要な役割を果たしています。

2025 年度の主な動き

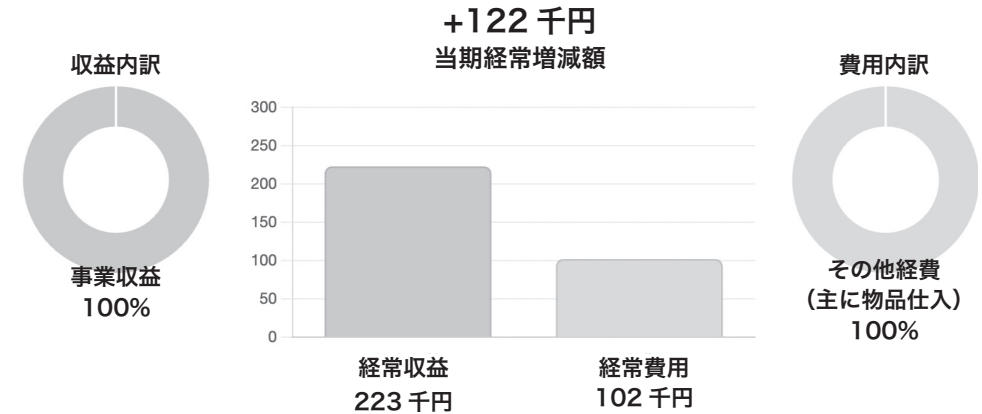
人気 Tシャツの復刻版を BASE で販売し、新作の作成は一旦見送りました。ホームページ広告は情報の見やすさを最優先として全面停止し、YouTube 広告は収益の柱として継続。寄付された物品の換金は 2025 年度は見送りとしました。



売上

項目	2025 年度	2024 年度	前年比
物販売上	156,939 円	461,025 円	大幅減
YouTube 広告	45,354 円	42,212 円	+7.4% ↑
ホームページ広告	21,006 円	29,437 円	-28.6% ↓
寄付物品換金	0 円	21,000 円	-
合計	223,299 円	553,674 円	-59.7% ↓

その他事業 収支概要



解説

2025 年度のその他事業は、活動資金を自ら生み出す重要な柱として取り組んできました。

物販売上は前年の約 3 分の 1 に減少しましたが、これは新作を見送り既存デザインの復刻販売のみとしたこと、在庫リスク低減のため受注生産に切り替えた判断によるものです。結果として売上は大幅に減少しましたが、スタッフの業務負担を大幅に軽減し、本来のミッションである情報提供・相談・セミナー事業に集中できる体制を整えることができました。

一方で YouTube 広告は堅調に推移し、ホームページ広告は情報の見やすさを最優先に停止しました。

私たちは「寄付に頼りきりにならない自立した運営」を目指しています。2026 年度は新作グッズを複数リリースして物販事業を再強化するとともに、YouTube 広告も継続しながら、持続的で力強い収益基盤を着実に築いてまいります。

運営体制

運営体制と意思決定の流れ

スタッフは18人で、専従1人・非常勤3人・無給14人で構成されています。普段は主にオンラインでやり取りしています。

【非常勤の内訳】

- ・パート：2人（年契約・固定給、一定の責任業務）
- ・アルバイト：1人（単発）

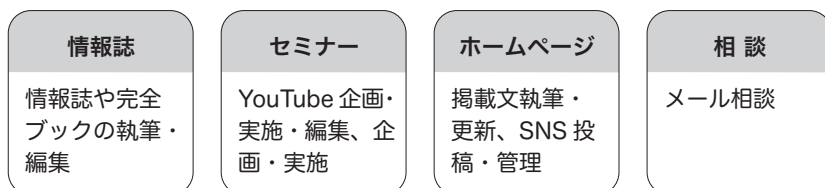
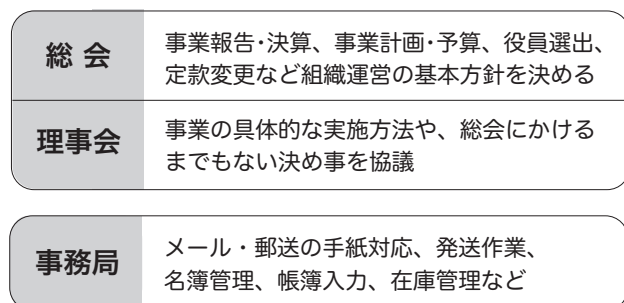
事業の具体的な実施方法や、総会にかけるまでもない決め事（他団体・企業からの案件など）は、9人の理事で構成される理事会で協議しています。

（図：下記運営体制図）

スタッフの内訳

18人のスタッフは、MS患者2人・MS家族1人・NMOSD患者1人・MOGAD家族1人・友人2人・脳神経内科医11人で構成されています。

【運営体制図】



共通経費の配分方法（按分）

給与・通信費・事務用品費など、複数の事業にまたがる経費は、専従スタッフが各事業に費やした時間の割合をもとに配分しました。

2025年度の従事時間と配分割合

事業	従事時間	配分割合	前年度従事時間
情報誌	1,095h ↑	40%	1,003h
セミナー	610h ↑	22%	550h
ホームページ	301h ↑	12%	259h
相談（メール・電話）	658h	23%	908h
管理	78h	3%	113h
その他*	27h ↑	0%	2h
合計	2,769h	100%	2,835h

※ その他：スタッフミーティング・企業との面談など。
割合として1%未満のため0%と表記

解説

2025年度は、情報誌・セミナー・ホームページのいずれも従事時間が増加しました。情報誌はオンライン版のリニューアル対応が加わったため、セミナーは動画編集を内製化したため、それぞれ時間が増えています。ホームページは検索流入を高める取り組みに注力した分、時間が増えました。

相談の時間が減ったのは、電話相談の終了と、前年度の完全ブック発行・情報誌オンライン版リリースに伴う一時的な問い合わせ増が落ち着いたためです。

「その他」の大幅増は、企業からの情報掲載案件の増加、実態調査「白書」に向けた打ち合わせ、パートスタッフ採用対応が重なったことによるものです。

2026 年度事業計画

2026 年度も信頼できる情報提供を軸に、以下の事業を展開します。

事業	主な内容	2026 年度の目標
情報誌発行	・バナナチップス Plus 年 4 回発行（紙+オンライン版）	・購読者数平均 1,500 人維持 ・オンライン購読者 10% 増 ・オンライン版の利便性向上
公開セミナー	・YouTube ライブ（専門家講演、対談、視聴者 Q&A） ・ライブ後編集して再配信 ・他チャンネルとコラボ	・総視聴回数 18 万回 ・チャンネル登録者 700 人増 ・ライブ回数増加（1～2 カ月に 1 回）
ホームページ	・大規模リニューアル（AI 活用+内部制作） ・SNS との連携強化	・サイト構造刷新完了 ・AI 検索対応強化 ・流入数 10% 増
相談窓口	・メール相談中心	・メール 1,200 件対応
その他事業	・物品開発 / 販売 ・広告掲載 / 寄付物品販売	・自主財源比率アップ ・BASE 新デザイン 4～5 作 ・LINE スタンプ発売開始

重点取り組み（2026 年度の柱）

2026 年度は、ホームページの大刷新を最重点取り組みとして位置づけています。情報過多の時代に、必要な情報へ迷わずたどり着ける構造へ全面刷新。外注せず、AI ツールをフル活用しながらスタッフが丁寧に整備します。

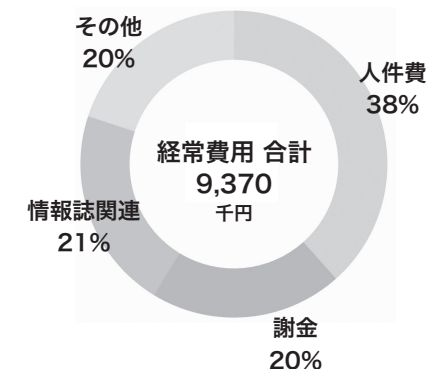
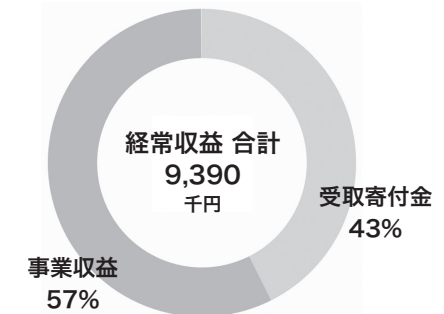
刷新の 3 つの柱は「初心者でも迷わず情報にたどり着ける導線の整備」「ナビゲーションの改善」「デザインの刷新」です。

2026 年度予算概要（単位：千円）

項目	金額	構成比
受取寄附金	4,000	43%
事業収益	5,380	57%
その他（利息）	10	-
経常収益 合計	9,390	100%

項目	金額	構成比
人件費	3,600	38%
謝金（執筆・講演）	1,900	20%
情報誌関連（印刷・発送）	2,000	21%
その他（通信・事務など）	1,870	20%
経常費用 合計	9,370	100%

当期経常増減額：+20（黒字確保）



2026 年度予算の特徴

予算の約 6 割（人件費+謝金）が「人」への投資です。執筆・監修に携わる方への謝金と、ホームページ・セミナー運営・相談対応を担うスタッフの人件費をしっかりと確保することを優先しています。

ホームページリニューアルも外注はせず内製化し、AI ツールの活用で業務効率を高めながらコストを最適化。患者さんに寄り添った質の高い活動を最優先に、持続可能な情報提供を続けていきます。

長期的目標(3～5年後を見据えて)

MS キャビンは、「知らない」を「知る」に変えていくことで、MS・NMOSD・MOGAD 患者さんとご家族が安心して暮らせる社会を実現するため、以下の長期目標を掲げます。

ホームページの完全刷新とデジタル基盤の強化

導線を徹底的に整備し、Google 検索だけでなく AI 検索からの流入も最大化。3 年以内に日本一の MS・NMOSD・MOGAD 情報ポータルサイトへ進化させます。

情報提供の質と継続性

情報誌「バナナチップス Plus」を紙とデジタル併用で安定発行。初心者から専門家まで「読んで考える」情報を届け続けます。

セミナー・相談体制の進化

YouTube ライブを軸に定期開催を増やし、双方向の学びの場を拡大。相談窓口は専門スタッフによる寄り添う対応をさらに手厚くし、患者さん・ご家族の孤立を防ぎ、希望につなげる存在であり続けます。

持続可能な運営基盤の構築

少数精鋭の体制を維持しながら、人件費・謝金を適切に確保。AI 活用と自主財源(情報誌・グッズ販売・広告等)の比率を高め、寄付に過度に依存しない強固な財務体質を目指します。

AI 時代の中で

情報があふれ、AI 回答も増えた今、「どれが本当に役立つ情報か」の判断はますます難しくなっています。MS キャビンは「情報不足」から始まりましたが、これからは「情報の整理」を軸に据えます。AI を否定するのではなく、AI とともに信頼できる情報を作り上げていく——それがこれからの MS キャビンの姿勢です。

役員と編集委員

役員(理事・監事)、編集委員、運営スタッフはそれぞれの役割を担いながら協力して活動しています。このうち役員と編集委員をご紹介します。

名前	役割	立場
中田 郷子	理事長、編集委員	多発性硬化症患者
太田 絵美	副理事長	友人
大橋 高志	副理事長、編集委員	脳神経内科医(鎌ヶ谷総合病院)
越智 博文	理事、編集委員	脳神経内科医(愛媛大学大学院)
近藤 誉之	理事、編集委員	脳神経内科医(関西医科大学総合医療センター)
中島 一郎	理事、編集委員	脳神経内科医(東北医科薬科大学医学部)
新野 正明	理事、編集委員	脳神経内科医(北海道医療センター)
宮本 勝一	理事、編集委員	脳神経内科医(和歌山県立医科大学)
横山 和正	理事、編集委員	脳神経内科医(東静岡脳神経センター)
茶端 敏行	監事	友人
木村 公俊	編集委員	脳神経内科医(京都大学医学部附属病院)
千原 典夫	編集委員	脳神経内科医(神戸大学医学部附属病院)
富沢 雄二	編集委員	脳神経内科医(順天堂大学医学部附属順天堂医院)
渡邊 充	編集委員	脳神経内科医(九州大学病院)

(2026年4月1日現在)

私たちの強み

当事者視点と、専門医の確かな知見が融合したチームです。情報誌の執筆・監修、セミナー講師、ホームページ内容のチェックまで、すべて現場を知るプロフェッショナルが直接関わっています。これにより「患者さんが本当にほしい情報」を、正確かつ温かく届け続けることができている。

今後は若手医師や当事者メンバーを増やし、より多様な視点を取り入れながら、持続可能な運営体制を強化していきます。

ご支援のお願い

活動を継続し、より多くの患者さん・ご家族に確かな情報を届け続けるために、皆さまのご協力が欠かせません。

ご無理のない範囲で、以下の方法でご支援いただければ幸いです。

バナナチップス Plus のご購入



事業収入の大切な柱です。病気の最新知識を得ながら、安定した運営を支えています。ただけです。

ご寄付



個人の皆さまからの温かいご支援が、中立性・独立性を守る大きな力になります。製薬企業からの寄付は受け付けておりませんが、製薬企業以外の法人様からの寄付は大歓迎です。

ホームページ・YouTube のご視聴と SNS フォロー

無料でできる強力な応援です。

「ホームページにアクセスする」「動画を見る、いいね・コメントする、シェアする」だけで Google や YouTube が「この情報は多くの人に役立っている」と判断し、検索結果やおすすめに表示されやすくなります。

結果として、必要な患者さん・家族に情報が自然に届きやすくなり、YouTube 広告収入も少しずつ増えます。SNS のいいね・コメント・シェアも同じくみで、情報の拡散を後押しします。

「見る・押す・つながる」だけで、立派な支援になります。

チャリティグッズのご購入



オリジナルグッズを販売しています。1 点あたり寄付金額も明記しています。

物品のご寄付

未使用はがき・書き損じはがき・未使用切手・テレカ・クオカード・商品券など、大切に活用させていただきます。

支援者の皆さまへのメッセージ

MS・NMOSD・MOGAD の患者さんにご家族の多くは、毎日不安と向き合っています。「ここに来れば確かな情報がある」「相談できる」と感じられる場を、私たち当事者や専門医は、人の手で丁寧に作り続けています。

製薬企業や公金に頼らず、皆さまの純粋なご支援と自主事業だけで活動を続けています。この徹底した独立性が、患者さんのための「本物の情報」を守る基盤です。

1 口の寄付、1 冊の購読、1 回の視聴が、確実に誰かの「希望」につながっています。この病気を抱えている人を、絶対に孤立させないために、今年も来年も、10 年後もこの活動を続けていくために、どうか、これからも MS キャビンを温かく支えていただけますよう、心よりお願い申し上げます。

ご寄付の方法



【クレジットカード決済】

ホームページの寄付ページからいつでもご利用いただけます。

【銀行振込】

三井住友銀行 上野支店 普通 7875710

みずほ銀行 三ノ輪支店 普通 8060314

ゆうちょ銀行 記号 10180 番号 49192671 (店名：〇一八 普通)


2026 年度予算の特徴

総予算は約 9,370 千円。人件費と謝金が約 6 割を占めており、専門家・スタッフによる質の高い情報提供を最優先にしています。HP リニューアルも大規模な外注はせず、AI 活用と人の手で丁寧に整備します。

NPO 法人ならではの仕組み

NPO 法人は利益を分配できませんが、活動を継続・発展させるために収益を上げることは制度上認められています。得た収益はすべて次年度以降の活動に充てられます。皆さまのご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

年表ハイライト

全年表はホームページに掲載しています。
 (MS キャビンについて>これまでの歴史)

1996年	
2月	ホームページ (HP) 開設=創立
1997年	
8月	国際 MS 支援基金 (IMSSF) の日本支部になる (→04年迄)
10月	「バナナチップス」創刊
1998年	
10月	IMSSF 患者イベントに参加 (米国アリゾナ)
1999年	
2月	HP 医療相談開始
5月	HP 掲示板開始 (→03年迄)
7月	インターフェロン・ベータ 1b 署名運動
8月	年会費制開始 (→03年迄)
9月	1社目の企業スポンサー獲得
10月	少人数セミナー開始 (東京)
12月	第1回講演会開催 (半蔵門)
2000年	
1月	IMSSF 患者イベントに参加 (米国アリゾナ)
3月	インターフェロン・ベータ 1a 署名運動
8月	第2回講演会開催 (早稲田)
2001年	
4月	地方講演会開始
7月	ナース電話相談「きゃびでん」開始 (→同年11月迄) 京都 MS セミナー開始
9月	国際学会 ECTRIMS に参加 (アイルランド)
10月	第3回講演会開催 (早稲田)
12月	MS 完全ブック第1版発行
2002年	
1月	IMSSF 患者イベントに参加 (米国アリゾナ)
10月	絵本「おかあさんびょうきなの」発行 (→休刊)
12月	第4回講演会開催 (東京ディズニー)
2003年	
1月	年会費制廃止・購読料制開始
2月	小冊子「多発性硬化症」シリーズ創刊 (→廃刊)
7月	小児 MS 情報誌「ポテトチップス創刊」(→07年迄)
8月	掲示板全て閉鎖
2004年	
1月	NPO 法人格取得 「勉強会」開始 (→06年迄)
12月	東京フォーラム開催 (品川) 以降3年間で3回開催
2005年	
1月	インターフェロン・ベータ 1a 承認運動
3月	少人数セミナー複数地域で開始
2006年	
5月	MS 完全ブック第2版発行
12月	小児 MS 新聞「ぱにぱにパンダ」創刊 (→08年迄)

2007年	
1月	業務日誌「デイリーチップス (現:ブログ)」公開開始
10月	「小児 MS 講演会」開催 (新宿)
12月	東京フォーラム開催 (六本木) 以降9年間で9回開催
2008年	
1月	バナナチップス編集顧問制開始 (→13年迄)
6月	大阪フォーラム開催
2009年	
5月	勉強会再開 (→12年迄) 「世界 MS の日」に参加
2010年	
5月	東北大学 MS 講座と共催で各地で講演会開催
2011年	
3月	ツイッター運用開始
5月	MS 完全ブック第3版発行
2012年	
12月	東京フォーラム動員数 500人超え
2013年	
9月	役員に専門医が加わる
2014年	
5月	第1回 MS 料理教室開催
12月	ホームページ改修
2015年	
12月	第2回 MS 料理教室開催

2016年	
2月	製薬企業からの寄付中止
2017年	
9月	MS 国際連合より J.D. ウォルフエンソン賞受賞 (ロンドン)
2018年	
9月	MS 完全ブック第4版発行 NMOSD 完全ブック第1版発行
2019年	
2月	インスタグラム運用開始
5月	フェイスブック運用開始
12月	東京フォーラム開催 (順天堂)
2020年	
6月	YouTube 運用開始
10月	賛同者と「NMOSD の日」制定
2021年	
10月	「バナナチップス Plus」創刊
2022年	
4月	ホームページ改修
2023年	
7月	すぐ分かるシリーズ配布
2024年	
2月	MS 完全ブック第5版発行 NMOSD 完全ブック第2版発行
10月	「バナナチップス Plus オンライン」運用開始
2025年	
3月	編集委員4人増員
10月	「バナナチップス Plus オンライン」リニューアル

MS キャビンについて

MS キャビンは 1996 年創立の多発性硬化症（MS）・視神経脊髄炎（NMOSD）・MOG 抗体関連疾患（MOGAD）の情報をお届けする NPO 法人です。
独立性を守るため、製薬企業・公金・行政助成金・政党などからの支援は一切受けていません。

事務局

〒116-0002 東京都荒川区荒川 1-47-7-505

※差し入れ・贈答品は辞退させていただいています。

お気持ちだけありがとうございます。

主な事業内容

- 情報誌・完全ブックの発行
- YouTube 配信
- ウェブサイト・SNS の運営
- 情報誌購読者限定メール相談窓口

生成 AI 利用について

当法人では、正確な情報をより早く必要とする方へお届けするため、生成 AI を補助的に活用しています。

最終的な内容の確認・調整・責任は、編集部がすべて担っています。

本誌の作成・編集にあたり、以下の生成 AI を活用しました。

Grok 4.3 (beta) [xAI]：データ分析・構造整理・起草・校正

Claude Sonnet 4.6 [Anthropic]：グラフ・起草・整文・表紙案・校正

各 AI は 2026 年 5 月時点で利用可能なバージョン・モデル・機能を活用し、その仕様に基づいています。

2025 年度事業報告書 発行日：2026 年 5 月 24 日

発行：特定非営利活動法人 MS キャビン

イラスト：えみすけ 誌面制作：トラキョンタ

〒116-0002 東京都荒川区荒川 1-47-7-505

電話：03-5604-5042

メール：info@mscabin.org ホームページ：www.mscabin.org

